

< その他、取組に特徴のある事例 >

第 3 期対策から再び制度に取り組む復活協定

1 . 集落協定の概要

市町村・協定名	くまげくんひらおちょう みなみしも 山口県熊毛郡平生町 南 下			
協定面積 7.8ha	田 (90%)	畑	草地	採草放牧地
	水稲	野菜・花き		
交付金額 74万円	個人配分			0%
	共同取組活動 (100%)	集落の各担当者の活動に対する経費		4%
		集落の共同取組活動に要する経費		94%
		その他		2%
協定参加者	農業者24人			開始：平成22年度
人・農地プランの作成状況	集落全域で作成済			

2 . 取組に至る経緯

平成 12 年の制度開始から協定を締結していたが、第 2 期対策は協定締結要件を満たすことが困難であったため参加しなかった。

第 3 期対策は、営農上の一体性の要件が廃止されるなど制度の要件が緩和されたことにより、集落内で再結成の機運が高まり、再び協定を締結することになった。

3 . 取組の内容

当集落は、平成 24 年度に町内で初めて人・農地プランを作成し、担い手の育成や農地集積を積極的に行うなど、自立的かつ持続的な農業生産活動に向けた体制整備を着実に進めている。

平成 25 年 12 月には、「きてみて！ひらおの会」の都市農漁村交流の一環として野菜の収穫体験を行い、この交流の中で野菜・花・ジャムの直売などの P R 活動も行っている。



集落の風景

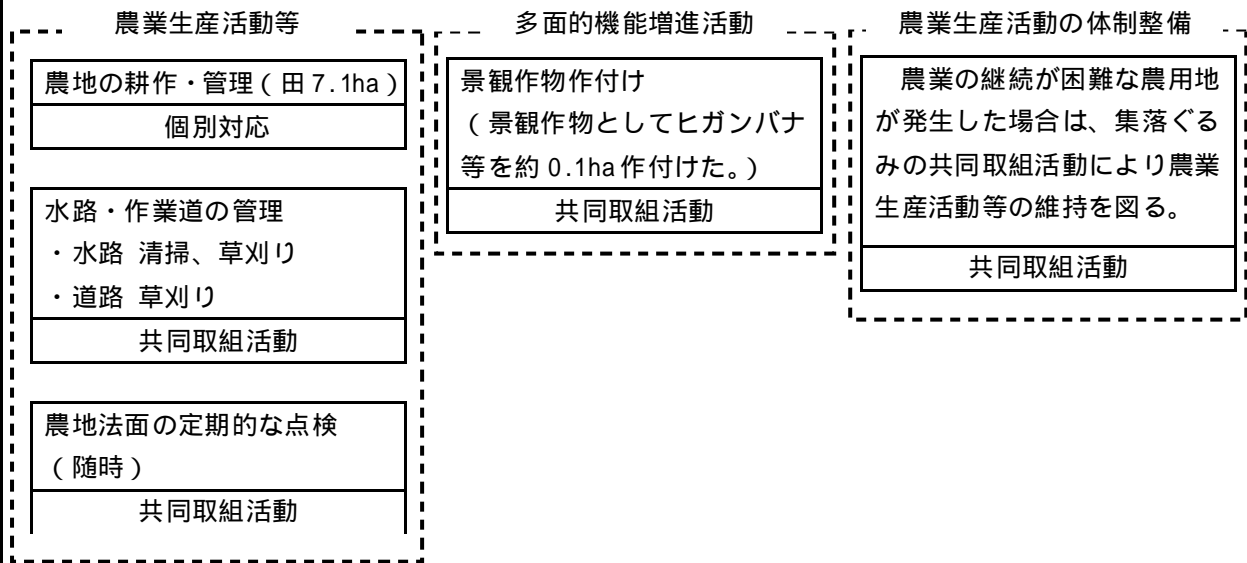


収穫体験の様子

[集落の将来像]
地域の実情に即した持続的な農業生産活動等の体制整備



[将来像を実現するための活動目標]
環境保全型農業の推進
定年帰農者の確保
農業の継続が困難な農用地が発生した場合、集落内の協力者により、安定的・持続的に支えあう仕組みづくりの構築
災害や老朽化により支障が出た水路等の修繕



集落外との連携
「きてみて！ひらおの会」の交流活動の一環として野菜の収穫体験を実施

「きてみて！ひらおの会」
平成20年3月14日にルーラルガイド等農林漁業者20人により結成。平生町の農林水産資源を活かした都市農漁村交流により、地域活性化を目指すグループ。

4 . 今後の課題等
高齢化による人手不足
基盤整備・機械化による作業効率の向上

[第 2 期対策の主な成果]

取組なし